

作成 令和4年6月30日
摂津市議会議員 松本暁彦

3 新しい小学校の農業体験について

令和4年第2回定例会一般質問 ～本会議3日目 令和4年6月27日～ 議事録(抜粋)

質疑概要

令和4年度から、小学校の農業体験学習が変更されました。その変更の内容や経緯について確認を行った。

○松本議員

次に新しい小学校の農業体験について、令和4年度から小学校の農業体験学習がこれまでの方法から変更されたとお聞きしています。

その内容と経緯についてお聞かせください。

(略※)

○南野議長

教育総務部長

○教育総務部長

小学校の新しい農業体験学習の内容とその経緯についてのご質問にお答えいたします。

小学校5年生で実施していた農業体験学習につきましては、これまで、田植え、稲刈り、収穫祭と言う体験活動が主な流れで実施しておりましたが、コロナ禍の影響もあり、会食を伴った収穫祭の実施について難しい状況となりました。

そこで、教育委員会としましては、昨年度まで中学校を中心として取り組んでまいりました、子ども達に「未来を切り拓く力」を育むキャリア教育を小学校からも推進していくために、体験活動で終わることのないよう、これまでの体験学習をリニューアルいたしました。

具体的には会食を伴った収穫祭を、地域にお住まいの農地提供者の方から、日々どんな思いで農業しているのか、やりがいや苦勞などの体験談をお話ししていただき、子どもたちが、話しをしてもらった内容から感じたことやその課題解決のための方策などを考え、発表するなどの学習活動へと変更することとしたものです。

(略※)

○松本議員

次に新しい小学校の農業体験についてですが、キャリア教育の推進など、その取組み、経緯について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

て理解しました。

では、その成果等は従来と比較してどう良くなるのか、お考えをお聞かせください。

○南野議長

教育総務部長

○教育総務部長

新しい農業体験学習では、農地提供者の方の思いを聞くことや、自分自身が考えることを通して、農業や農作物に対する認識の変化や関心が高まることが成果として期待されます。

また、生産者の方のご苦勞を知ることから日々食している、農作物への感謝の気持ちを持つことでキャリア教育の推進やSDGsへの取り組みにもつながると捉えております。

教育委員会としましては、これらの取り組みにより、子どもたち自身が今後、「学んだことを活かし、社会とのつながりを感じる」ことができ、さらなる学習意欲の向上へとつながってほしいと考えております。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

新たな農業体験の成果等について、感謝の気持ちやあるいは一層の学習意欲向上につながるものと理解しました。

より良い体験学習となるようしっかりと取り組まれることを要望致します。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 新体制での児童虐待防止の取り組みについて
- 2 PFOA 問題の対策推進と風評被害防止について
- 3 新しい小学校の農業体験について**
- 4 太陽光発電の留意すべき点について
- 5 ワクチン接種の副反応による健康被害が生じた場合の救済制度について
- 6 就学前教育と小1スタートカリキュラムの連携の重要性について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]